

平成 22 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 東京特殊電線株式会社
代表者名 取締役社長 立川 直臣
(コード番号 5807 東証第 1 部)
問合せ先 総務担当部長
北澤 登与吉
TEL (03) 5860-2121

業績予想の修正及び為替差損計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 22 年 5 月 13 日に公表しました平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想の修正並びに為替差損の計上につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

(1) 連結業績

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想 (A) (平成 22 年 5 月 13 日)	15,500	100	0	△50	△1.13
今回修正予想 (B)	18,000	△100	△370	△550	△12.46
増減額 (B - A)	2,500	△200	△370	△500	—
増減率	16.1	—	—	—	—
(ご参考) 前第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	17,895	△333	△676	△2,862	△64.85

(2) 個別業績

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想 (A) (平成 22 年 5 月 13 日)	12,500	200	100	60	1.36
今回修正予想 (B)	13,500	160	△150	△180	△4.07
増減額 (B - A)	1,000	△40	△250	△240	—
増減率	8.0	△20.0	—	—	—
(ご参考) 前第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	14,878	△84	△264	△2,306	△52.16

2. 平成23年3月期通期の修正（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(1) 連結業績

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A) (平成22年5月13日)	32,000	650	400	330	7.48
今回修正予想 (B)	34,000	200	△150	△350	△7.93
増減額 (B - A)	2,000	△450	△550	△680	—
増減率	6.3	△69.2	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	37,500	82	△386	△2,209	△50.04

(2) 個別業績

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A) (平成22年5月13日)	25,500	350	150	80	1.81
今回修正予想 (B)	25,500	250	△150	△800	△18.10
増減額 (B - A)	0	△100	△300	△880	—
増減率	0.0	△28.6	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	30,503	60	△248	△1,848	△41.82

3. 業績予想の修正理由

第2四半期累計期間においては、医用画像表示用ディスプレイの売上が伸び悩みましたが、線材加工品や光部品・機器、運送事業の売上が当初の見込みより増加したことから、連結業績、個別業績ともに、売上高は前回（平成22年5月13日）の発表から上回る見通しとなりました。

通期においては、連結業績の売上高は前回の発表を上回る見通しですが、エコカー補助金制度などの景気対策が、実施期限の到来とともにその効果を減ずることが予想されるほか、円高やデフレの長期化など、景気の下振れ懸念があることから、個別業績の売上高は前回の発表と変わらない見通しです。

一方、事業全体において製品販売価格の低価格化が顕著であり、円高の進行による為替差損も発生していることから、第2四半期累計期間の連結業績、個別業績における営業利益、経常利益、四半期純利益はいずれも前回（平成22年5月13日）の発表から下回る見通しとなりました。通期における連結業績、個別業績におきましても、営業利益、経常利益、当期純利益は損益圧迫要因が継続することが予想されることから、いずれも前回の発表を下回る見通しです。なお、通期の個別業績には、製品価格の下落から業績が低迷しているタイにある電子部品製造販売子会社の、子会社株式評価損を特別損失として見込んでいますが、連結業績には影響ありません。

4. 為替差損の計上

為替相場における急激な円高・ドル安により、平成23年3月期第2四半期累計期間において、営業外費用に為替差損を連結業績では241百万円、個別業績では225百万円計上いたします。

なお、これは主に平成23年3月期第2四半期末時点での為替相場により算出したものであり、今後の為替相場により為替差損益の金額は変動します。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により業績予想と異なる結果となり得ることをご承知おきください。

以上